

【 事例 1 】 廃棄物の発生量削減や分別の徹底と使用済ガラスびんのリサイクルの取組

事業所名	株式会社 資生堂 鎌倉工場（神奈川県鎌倉市岩瀬1-2-3）
事業内容	化粧品製造
事業規模	従業員数 270名 協力会社社員数 900名 合計1,170名
廃棄物データ	産業廃棄物 発生量計： 3,688 t（2005年度実績）

1 取組の概要

（ 1 ）取組の経緯

株式会社資生堂鎌倉工場では1998年に国内化粧品業界で初めてISO9001とISO14001のダブル認証を受けました。このISO14001の認証取得を契機として、従来以上に廃棄物の発生量の削減や39分類の分別を通じて廃棄物のリサイクルを推進してきており、2001年度にはゼロエミッション（リサイクル率100%（最終処分なし））を達成しました。

また、全社的な取組として容器包装リサイクル法等を背景とし、2001年度から本格的に開始された使用済みガラスびん容器（化粧品容器）のリサイクル活動（Recycle Together）があります。鎌倉工場は、全国の店頭に立つ美容部員の研修に利用されており、工場見学と併せてリサイクルに関する説明も行われています。

（ 2 ）取組の内容

ア 鎌倉工場の取組

分別のための「持ち込まない」、「出さない」の徹底

廃棄物の発生抑制とリサイクルに要する費用を削減するため、緑色の飲料用容器を禁止したり、梱包用ダンボールの複数回利用と業者回収について取り決めを行うことにより、現在は39品目のリサイクル可能な廃棄物以外のものを工場に持ち込むことを禁止しています。

また、これらの廃棄物の分別方法や保管場所について各部署に「分別・廃棄一覧表」を配布しています。なお、受入時の検査で不良となったびん等製造過程で生じる廃棄物（びん）の保管状況は写真右のとおりです。



廃棄物保管場所の状況

処理業者の選定（各品目2社以上）

処理業者は、必ず2社以上を選定することにより、万一の場合にも処理が滞らないように配慮しています。

保管場所の確保

39品目の保管場所の表示を行うとともに、ガラスびんに関してはサンプルを保管場所に置くことにより異物の混入を防止しています。また、廃棄物の減容化のためにペットボトル破砕機、廃プラスチックの減容器を設置しています。

各部署の代表による毎月パトロール

毎月、場内の廃棄物が適切に分別されているかを確認するために各部署の代表者がパトロールを実施しています。

イ 全社的な取組

全社的な取組として行っている「Recycle Together」の活動は、2001年4月より全国的に行われています。この活動は、お客さま、お店、ガラスびんメーカーとともに、資源循環の仕組みを作り、使用済みのガラスびんをリサイクルするものです。このリサイクル活動はお客さまに使用済みのガラスびんを店頭までお持ちいただき、商品の発送ルートと逆のルートで物流センターを経て静岡の掛川工場（カレットセンター）に返送することにより、全国で使用された資生堂製のガラスびんをカレットにした後、再生するものです。神奈川県では川崎、扇島の配送センターを経て掛川工場に回収されています。

分類	品名	再生用途・処理方法	収集場所		
生廃系	生ゴミ	調理くず、残飯、茶殻 【生ゴミはビニール袋から出して容器に入れる。 ビニール袋は専用容器に入れる】	堆肥として再生【場内コンポスト】 E-1		
	煙草	煙草の吸殻	発電の燃料又は鉄鋼原料乾燥用燃料として再生 D		
	剪定屑	植木の剪定屑	堆肥として再生 F-1		
生廃系	ゴム	ゴムホース・ゴムベルト・ビニールホース	発電の燃料又は鉄鋼原料乾燥用燃料として再生 K-1		
	OA機器・家電製品	OA機器・テレビ・冷蔵庫・扇風機・ポット等の家電品	解体してプラスチック&金属母材等として再生 L-1		
通称系	燃やすゴミ (生活ゴミ) (生産ゴミ)	【生活ゴミ・可燃性のゴミ】 ティッシュ、清掃ゴミ、食品包装材、牛乳パック、ストロー、紙コップ、カップ類の蓋&容器、作業着、皮革製品、綿織、筆記用具、 【生産ゴミ】 廃棄用廃品（金属&プラスチック複合品） 窓あき封筒、マジックテープ、輪ゴム、 ガムテープ、インクリボン、 インクカートリッジ、フロッピー 【生産ゴミ・可燃性のゴミ】 レーベル台紙、Fシール、能書、 コーティングケース、紙マスク、キムタオル、 さらし、ウエス、指サック、作業靴、ゴム手袋、 テープ類、たわし、ほうき、ブラシ、長靴 セメント袋、カーボン	発電の燃料として再生 又は 鉄鋼原料乾燥用燃料として再生	B	
	塵じ	壁紙配管・壁紙カバー・中継ホース	発電の燃料として再生	K-2	
	ペットボトル	ペットボトル（洗浄するためキャップは外してください）	高炉の還元剤として再生	I	
	図形 プラスチック	【硬くプラスチック】 プラ容器、オジューブ、中栓、樹脂キャップ、 樹脂原料容器、プラスチック部品、樹脂素材、 ポリタンク、ティアテープの芯	高炉の還元剤として再生	U	
	フィルム	【薄くて柔らかいプラスチック】 フィルム、パウチパック、プリスターパック、 ポリ袋、カラリアン、ウレタン、エアパッキン スポンジ・PP袋、発泡スチロール、 ブルーシート、OPPフィルム、OPP容器、	高炉の還元剤として再生	J	
	OPP容器・ 透明ケース・ トレイ	チューブカットシールカス、透明ケース、 トレイ	高炉の還元剤として再生	V	
	プラスチック 屑	工作機械で切削したプラスチック屑	高炉の還元剤として再生	K-3	
	金属	電池	電池	金属母材&フェライトとして再生	E-2
		アルミ缶	アルミ缶	アルミ圧縮板として再生	E-3
		スチール缶	スチール缶、ドリンク類の蓋	金属母材として再生	E-4
原料缶		原料缶（一斗缶・丸缶）カセットボンベ（中継抜き）、SP缶（中継抜き）	金属母材として再生	G	
機械・ 機械部品	機械、金属部品、工作機械で切削した金属屑	金属母材として再生	Q		
紙	マル秘文書	マル秘文書、責任焼却文書	トイレットペーパーとして再生	O	
	雑誌・ チラシ	雑誌、チラシ、パンフレット、色紙、封筒	雑誌・菓子箱として再生	P-1	
	新聞紙	新聞紙	新聞巻取り紙として再生	P-2	
	ダンボール	ダンボール、合紙、クラフト紙（厚紙）、菓子箱等の箱類	ダンボールの原紙として再生	H	
	コピー紙	コピー紙、ワープロ紙	トイレットペーパーとして再生	P-3	
OA紙	OA紙	ティッシュペーパーとして再生	P-4		

分別・廃棄一覧表（抜粋）



使用済みガラスびんリサイクルシステムの概要

2 課題の解決にあたり苦労した点

(1) 鎌倉工場での分別・リサイクル活動

ゼロエミッションを達成するためには、取組に参加する全ての方々に内容を周知・徹底と意識付けすることが課題でした。

分別廃棄をわかりやすくするために、写真と色分けされた表示物を、工場内のゴミ箱周辺に表示するようにしました。また、分別・リサイクル活動は工場の各部署の協力が不可欠なことから、各部署の代表者が毎月パトロールをするようにして参加をしてもらっています。

(2) 全社的な「Recycle Together」の取組

資生堂店頭美容部員に、研修等の機会をとらえて使用済みびんの回収方法等について周知を図っています。また、お客さま向けには雑誌広告、ホームページ等を通じて使用済みガラスびんの回収への協力をお願いしていますが、現状の回収率はまだ数パーセントであることから、今後も引き続き改善していく必要があると考えています。なお、再生品のびんは新品と同じ品質であることから、鎌倉工場では特段の苦労はありませんでした。

3 取組による成果

(1) 鎌倉工場の分別・リサイクル活動

鎌倉工場では2001年度にゼロエミッションを達成し、その後も100%を維持しています。



(2) 全社的な「Recycle Together」の取組

回収量は活動を開始した2001年度には28トンでしたが、昨年度(2005年度)には121トンにまで増えてきています。

鎌倉工場のリサイクル率

4 今後の取組

(1) 鎌倉工場の取組

今後は、ゼロエミッション100%を維持するとともに、廃棄物発生量を削減することが必要だと考えています。個別品目毎に再資源化や削減の可能性・方法について継続的に検討していきます。

(2) 全社的な「Recycle Together」の取組

使用済みびんの回収率向上のため、従業員、お客さま等の各関係者の方々に今後ともご協力をお願いしていきます。